

令和4年度第2四半期連結決算概要

令和4年10月31日
東海旅客鉄道株式会社

- ・新型コロナウイルス感染症の影響はあったものの、東海道新幹線・在来線ともにご利用が増加したことなどから、**連結営業収益は前年と比べ増加**。
- ・営業費は、当社の物件費やグループ会社における売上原価の増等により増加したが、**増収・増益の決算**。
- ・通期の業績予想は、**営業収益を据え置く一方で、当社の物件費の増等を反映し、各利益を下方修正する**。
- ・引き続き、安全・安定輸送の確保を最優先に輸送機関としての使命を果たしつつ、新型コロナウイルス感染症の影響による厳しい経営状況から脱却すべく、「業務改革」を推進するとともに、新しい発想により「収益の拡大」を実現することに挑戦し、経営体力の再強化に取り組む。

1. 連結損益の概要（累計）

(1) 営業収益 6,341億円（対前年同期+2,471億円、63.9%増）

- ・当社の**運輸収入は、対前年同期2,230億円（85.8%）増の4,830億円**。

- ・東海道新幹線については、「のぞみ12本ダイヤ」を活用して、需要にあわせた弾力的な列車設定を行うなど、輸送サービスの充実に取り組んだ。また、「ずらし旅」や「押し旅アップデート」の展開等、魅力ある旅行商品等を販売したほか、奈良にスポットをあてた新たな観光キャンペーン「いざいざ奈良」を開始した。さらに、一時的な打ち合わせやWeb会議等にご利用いただける個室タイプの「ビジネスブース」を一部のN700S車内に試験的に導入したほか、半個室タイプのビジネスコーナーを全ての「のぞみ」停車駅に設置するなど、車内や駅のビジネス環境の整備に取り組んだ。
- ・在来線については、「しなの」、「ひだ」等の特急列車について、需要にあわせ弾力的に増発や増結を行うとともに、7月に「ひだ」でハイブリッド方式の新型特急車両HC85系の営業運転を開始した。
- ・上記の結果、東海道新幹線の運輸収入は対前年同期2,140億円（93.7%）増の4,425億円、在来線の運輸収入は対前年同期89億円（28.4%）増の405億円となった。
- ・鉄道以外の事業においては、JRセントラルタワーズと開業5周年を迎えたJRゲートタワーを一体的に運営し、顧客ニーズを捉えた営業施策を展開するなど収益の拡大を図った結果、グループ全体でも増収。

(2) 営業費 4,622億円（対前年同期+411億円、9.8%増）**(3) 営業利益 1,719億円（対前年同期+2,060億円）****(4) 営業外損益 △356億円（対前年同期△26億円）****(5) 経常利益 1,362億円（対前年同期+2,033億円）****(6) 親会社株主に帰属する四半期純利益 969億円（対前年同期+1,414億円）**

2. 令和4年度の業績予想

- ・営業収益については、第2四半期までの運輸収入が年度初の想定を上回ったものの、新型コロナウイルス感染症の影響が残り、先行きが不透明であることから、**前回予想の1兆3,320億円（対前期42.4%増）を据え置く**。
- ・一方で、営業費について燃料価格の急激な上昇に伴う動力費の増等を反映し、各利益については、**営業利益2,790億円、経常利益2,080億円、親会社株主に帰属する当期純利益1,410億円に下方修正する**。
- ・当業績予想は、今後の新型コロナウイルス感染症の収束状況や経済動向等により、大きく変動する可能性がある。

3. 令和4年度の間配当金及び期末配当予想（当社）

- ・中間配当金 1株当たり65円（年初予想通り、前中間期と同額）
- ・期末配当予想 1株当たり65円

※ 金額は単位未満端数切捨（補足説明資料2以降についても同じ）

比較第2四半期損益計算書【連結】

(単位 億円、%)

科 目	令和3年度 累 計	令和4年度 累 計	増 減	前期比
営 業 収 益	3,869	6,341	2,471	163.9
運 輸 業	2,853	5,094	2,241	178.5
流 通 業	410	599	188	145.9
不 動 産 業	203	216	12	106.3
そ の 他	402	431	29	107.3
営 業 費	4,210	4,622	411	109.8
営 業 損 益	△ 341	1,719	2,060	—
営 業 外 損 益	△ 329	△ 356	△ 26	108.0
営 業 外 収 益	87	59	△ 28	67.8
営 業 外 費 用	417	416	△ 1	99.6
経 常 損 益	△ 670	1,362	2,033	—
特 別 損 益	19	△ 3	△ 22	—
税 金 等 調 整 前 四 半 期 純 損 益	△ 651	1,359	2,011	—
法 人 税 等	△ 212	384	596	—
四 半 期 純 損 益	△ 439	975	1,415	—
非 支 配 株 主 に 帰 属 す る 四 半 期 純 損 益	4	6	1	120.2
親 会 社 株 主 に 帰 属 す る 四 半 期 純 損 益	△ 444	969	1,414	—
四 半 期 包 括 利 益	△ 455	925	1,381	—

(注) 営業収益の内訳は、セグメント別の外部顧客への売上高

比較第2四半期損益計算書【単体】

(単位 億円、%)

科 目	令和3年度 累 計	令和4年度 累 計	増 減	前期比
営 業 収 益	2,946	5,193	2,247	176.3
運 輸 収 入	2,600	4,830	2,230	185.8
そ の 他 の 収 入	345	362	16	104.9
営 業 費	3,231	3,544	313	109.7
人 件 費	799	861	62	107.8
物 件 費	1,349	1,508	158	111.8
租 税 公 課	175	192	17	110.2
減 価 償 却 費	908	981	73	108.1
営 業 損 益	△ 285	1,648	1,933	—
営 業 外 損 益	△ 351	△ 364	△ 13	103.8
営 業 外 収 益	68	54	△ 14	79.5
営 業 外 費 用	420	419	△ 0	99.8
経 常 損 益	△ 636	1,284	1,920	—
特 別 損 益	△ 98	△ 0	98	0.0
税引前四半期純損益	△ 735	1,284	2,019	—
法 人 税 等	△ 222	379	602	—
四 半 期 純 損 益	△ 512	904	1,416	—

輸送人キロおよび運輸収入の比較（第2四半期）

（単位 百万人キロ、億円、％）

			令和3年度 累 計	令和4年度 累 計	増 減	前期比	(参考)	
							令和4年度 7～9月	前期比
輸 送 人 キ ロ	新 幹 線	定 期	495	549	55	111.0	272	113.6
		定期外	9,192	18,467	9,276	200.9	9,532	191.8
		合 計	9,686	19,017	9,330	196.3	9,804	188.2
	在 来 線	定 期	2,459	2,500	41	101.7	1,246	102.7
		定期外	885	1,365	480	154.2	693	153.5
		合 計	3,344	3,865	521	115.6	1,939	116.5
	合 計	定 期	2,954	3,049	95	103.2	1,518	104.5
		定期外	10,077	19,832	9,756	196.8	10,225	188.6
		合 計	13,031	22,882	9,851	175.6	11,743	170.8
運 輸 収 入	新 幹 線	定 期	59	64	5	(70.3) 109.0	31	(69.6) 111.7
		定期外	2,225	4,360	2,135	(69.0) 195.9	2,236	(69.1) 188.1
		合 計	2,284	4,425	2,140	(69.1) 193.7	2,268	(69.1) 186.3
	在 来 線	定 期	151	153	2	(85.5) 101.7	76	(85.5) 102.7
		定期外	164	251	87	(72.8) 152.9	127	(73.7) 153.5
		合 計	315	405	89	(77.2) 128.4	203	(77.7) 129.4
	合 計	定 期	210	218	7	(80.4) 103.7	108	(80.1) 105.2
		定期外	2,390	4,612	2,222	(69.2) 193.0	2,363	(69.3) 185.8
		合 計	2,600	4,830	2,230	(69.7) 185.8	2,472	(69.7) 179.8
合計 (小荷物含む)		2,600	4,830	2,230	(69.7) 185.8	2,472	(69.7) 179.8	

(注)1. 当社単体に係る輸送人キロおよび運輸収入を記載

2. 輸送人キロは単位未満端数四捨五入

3. 前期比欄の()内は、平成30年度との比較を記載

比較第2四半期貸借対照表【連結】

(単位 億円)

科 目	令和3年度 期 末	令和4年度 第2四半期末	増 減
流 動 資 産	26,827	26,831	3
うち 中央新幹線建設資金管理信託	18,130	16,767	△ 1,363
固 定 資 産	67,677	67,777	100
有 形 ・ 無 形 固 定 資 産	55,497	56,201	703
投 資 そ の 他 の 資 産	12,180	11,576	△ 603
資 産 合 計	94,505	94,609	104
流 動 負 債	7,373	7,931	558
固 定 負 債	51,039	49,788	△ 1,250
負 債 合 計	58,412	57,720	△ 692
純 資 産 合 計	36,092	36,889	796
負 債 純 資 産 合 計	94,505	94,609	104
(再掲) 長期債務	49,416	49,481	64
中央新幹線建設長期借入金	30,000	30,000	-
社 債	8,907	9,007	100
長 期 借 入 金	5,244	5,240	△ 3
鉄道施設購入長期未払金	5,265	5,233	△ 32

比較第2四半期キャッシュ・フロー計算書【連結】

(単位 億円)

科 目	令和3年度 累 計	令和4年度 累 計	増 減
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 846	1,665	2,512
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 962	△ 774	187
有形・無形固定資産の取得等による支出	△ 2,243	△ 2,402	△ 159
中央新幹線建設資金管理信託による収入	1,280	1,363	83
資金運用による収入・支出（純額）	-	264	264
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,714	△ 28	△ 1,742
現金及び現金同等物の増減額	△ 95	862	957
現金及び現金同等物の期首残高	7,199	6,194	△ 1,004
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,103	7,056	△ 47

通期の業績予想【連結】

(単位 億円、%)

科 目	令和3年度 (実績) A	令和4年度 (前回予想) B	令和4年度 (今回予想) C	対前回予想		対前年実績	
				増 減 C-B	比 率 C/B	増 減 C-A	比 率 C/A
営 業 収 益	9,351	13,320	13,320	-	100.0	3,968	142.4
営 業 費	9,334	10,420	10,530	110	101.1	1,195	112.8
営 業 損 益	17	2,900	2,790	△ 110	96.2	2,772	-
経 常 損 益	△ 672	2,170	2,080	△ 90	95.9	2,752	-
親会社株主に帰属する 当期純損益	△ 519	1,460	1,410	△ 50	96.6	1,929	-

通期の業績予想【単体】

(単位 億円、%)

科 目	令和3年度 (実績) A	令和4年度 (前回予想) B	令和4年度 (今回予想) C	対前回予想		対前年実績	
				増 減 C-B	比 率 C/B	増 減 C-A	比 率 C/A
営 業 収 益	7,260	10,840	10,840	-	100.0	3,579	149.3
〔うち運輸収入〕	6,572	10,130	10,130	-	100.0	3,557	154.1
営 業 費	7,273	8,070	8,190	120	101.5	916	112.6
営 業 損 益	△ 12	2,770	2,650	△ 120	95.7	2,662	-
経 常 損 益	△ 740	2,040	1,930	△ 110	94.6	2,670	-
当 期 純 損 益	△ 681	1,390	1,320	△ 70	95.0	2,001	-

参考:セグメント情報(実績)

(単位 億円、%)

科 目		令和3年度 累 計	令和4年度 累 計	増 減	前期比
営業収益	運輸業	2,900	5,145	2,244	177.4
	流通業	449	636	186	141.5
	不動産業	356	373	17	104.9
	その他	943	1,030	86	109.2
	調整額	△ 780	△ 844	△ 63	108.2
	計	3,869	6,341	2,471	163.9
セグメント損益 (営業損益)	運輸業	△ 325	1,605	1,931	-
	流通業	△ 49	26	75	-
	不動産業	83	98	15	118.1
	その他	△ 41	△ 4	37	11.2
	調整額	△ 8	△ 6	1	81.8
	計	△ 341	1,719	2,060	-

- (注) 1. セグメント別の営業収益は、外部顧客への売上高のほか、他セグメントへの売上高を含む
2. 「調整額」欄は、セグメント間取引の相殺消去

参考:セグメント情報(業績予想)

(単位 億円、%)

科 目		令和3年度 (実績) A	令和4年度 (前回予想) B	令和4年度 (今回予想) C	対前回予想		対前年実績	
					増 減 C-B	比 率 C/B	増 減 C-A	比 率 C/A
営業収益	運輸業	7,176	10,740	10,740	-	100.0	3,563	149.7
	流通業	1,027	1,370	1,370	-	100.0	342	133.4
	不動産業	722	750	750	-	100.0	27	103.8
	その他	2,344	2,510	2,480	△ 30	98.8	135	105.8
	調整額	△ 1,919	△ 2,050	△ 2,020	30	98.5	△ 100	105.3
	計	9,351	13,320	13,320	-	100.0	3,968	142.4
セグメント損益 (営業損益)	運輸業	△ 83	2,690	2,570	△ 120	95.5	2,653	-
	流通業	△ 37	30	30	-	100.0	67	-
	不動産業	149	150	140	△ 10	93.3	△ 9	93.8
	その他	11	50	60	10	120.0	48	511.1
	調整額	△ 22	△ 20	△ 10	10	50.0	12	44.0
	計	17	2,900	2,790	△ 110	96.2	2,772	-

- (注) 1. セグメント別の営業収益は、外部顧客への売上高のほか、他セグメントへの売上高を含む
2. 「調整額」欄は、セグメント間取引の相殺消去